

## 永井 良三 氏

### 〈略歴〉

東京大学医学部卒業、医学博士。専門は循環器病学。

現在、東京大学名誉教授、自治医科大学学長、宮内庁皇室医務主管などに就任。

### 〈講演概要〉 タイトル：「医工連携におけるデータ駆動」

コロナ禍を乗り越えるには、「仮説駆動型の対策」に加え、市中の観測データを集めて対策を考える「データ駆動型の対策」を実施しなければならない。情報は、法則性が分からないときに重要である。また、データは、治療法の有効性や他との「違い」を示すときに必要である。「モノづくり」においても、世界の市場を席捲するために、データにより製品の「違い」を証明することが重要である。コロナ禍を経験し、データ志向の重要性を改めて問いたい。



## 第一医科株式会社

1953年創業の耳鼻咽喉科に特化した医療機器メーカー。

近年は海外展開と医療機器開発に積極的に取り組み、平成24年度「課題解決型医療機器等開発事業」で採択された「難治性メニエール病のめまい発作を無侵襲的に軽減する医療機器の開発」では、世界で初めて鼓膜切開など侵襲を伴わない治療機器を開発、保険適用され患者の治療に貢献している。

### 〈講演概要〉 タイトル：「医療ニーズを製品化した実例」

2020年年始から広がった新型コロナウイルス感染症への対応により、多くの医療現場が逼迫した状況に置かれた。同社は、東京都医工連携HUB機構に寄せられたニーズをもとに、感染症対策に資する製品を開発した。本開発製品を中心に、新型コロナウイルス感染症で発生した医療ニーズを製品として実現する際に検討したポイントや製品に込められた思いについて、伝統ある医療機器メーカーの視点から講演する。



開発製品を身に着ける林代表取締役社長（写真左）と稲垣課長（写真右）

## 小林 隆太郎 氏

### 〈略歴〉

日本歯科大学歯学部卒業。現在、日本歯科大学口腔外科教授、日本歯科医学会歯科医療協議会座長、同医学会常任理事などに就任、日本歯科医学会連合新型コロナウイルス感染症対策チーム長を務める。

### 〈講演概要〉 タイトル：「ウイルスに対抗する歯科の重要性」

口腔はウイルスの侵入口であり、新型コロナウイルス感染症を口腔の視点から考えることは重要である。慢性閉塞性肺疾患（COPD）や呼吸器疾患、糖尿病などの基礎疾患を有する患者は、新型コロナウイルスに感染すると重症化リスクや死亡率が高くなることが報告されているが、これらの疾患は歯周病や口腔細菌と関連していることも指摘されている。「口腔はウイルスの侵入口」及び「口腔の健康は全身の健康にもつながる」との考えのもと、新型コロナウイルスへの理解を通じて、ウイルス感染症への理解を深めたい。

